

## 令和2年度 大阪府立牧野高等学校 第2回学校運営協議会 議事録

日 時 令和2年12月4日（金）15:30～16:30

場 所 大阪府立牧野高等学校 校長室

出席者 協議会委員 松宮 新吾（会長）、有堀 正彦（副会長）、福原 哲晃、尾崎 順子、岩佐 理恵  
（敬称略） 学 校 長 日笠 賢  
事 務 局 東尾 茂宏、石田 暁、中務 正和、大塚 正宣

### 1. 開会

#### ○挨拶

松宮会長 新型コロナウイルス感染症への対応がレッドステージへの移行に伴い、学校として様々な対応が求められていると思う。本日は、現在の学校運営の進捗状況のご報告を受け、後ほどの協議で委員の皆さんからのご意見をいただきたい。

日笠校長 本日は皆様からいろいろとご意見を頂き、今後の学校運営に活かしていきたい。

### 2. 学校の現状と令和2年度学校経営計画の進捗状況について（資料1）……学校長より報告。

#### 1) 新学習指導要領への対応

昨日（12/3）の職員会議にて提示。国公立進学希望者に対応できるカリキュラムを編成した。

#### 2) グローバルな人材の育成

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて十分な取り組みができなかったが、近隣の大学の学生や留学生との交流に可能性は引き続き模索したい。

#### 3) 大学訪問

例年実施のこの事業も今年は取り組むことができなかったが、1年生を対象に大学教授による進路講演会とアナウンサーによるキャリア教育の講演会を実施した。

#### 3) 育成支援事業

昨年に引き続き「パッケージ研修支援」に応募し、9月に実施。今回は授業をしている先生がカメラを装着し、授業担当者の目線でビデオに録画した資料をもとに研究協議を行った。

#### 4) 人権研修

各学年で人権 HR 計画をたて、講演会や鑑賞会を実施。直近では、昨日、1年生を対象にアニメ「めぐみ」の鑑賞、教職員向けの同和研修を実施。2週間後には1年生対象に同和講演会を実施予定。

#### 5) 教職員の長時間勤務の縮減

資料3「超過勤務の推移」をもとに説明。この3年間で漸減する傾向になっている。

### 3. 授業アンケート（第1回）の結果について（資料2）……学校長より報告

平成29年度第2回からの経年比較として資料を作成。

アンケートにおける評価については、各教科とも年々着実に評価数値が向上している。

### 4. 職員超過勤務の推移の報告（資料3）

年度当初の学校休業期間もあり、数値としては減少傾向にある。8月など一部前年より増加しているが、今年は例年の夏休み期間に授業日が設定されたことも関係していると思われる。

### 《その他》「レッドステージ移行後の教育活動等」について

別添資料をもとに、教育活動の在り方について説明。現在、大阪府では約半数の府立高校で休業措置を経験

しているが、レッドステージ移行後も、分散登校、短縮授業は行わず、通常形態での教育活動を継続方針。

## 5. 協議《質疑と意見交換》

○新型コロナウイルス感染症への不安から登校しにくい生徒はいるか？

⇒ 数名いるようだが、少しずつ快方に向かってきている。

○濃厚接触者等の出席停止扱いの生徒への課題等の対応は？

⇒ 多くの学校にならって G Suite を導入しているが、本校ではさらにスタディサプリを導入することにより、5教科を中心に課題を提示し、学習に対応できる体制をつくっている。また、連絡網としては、楽メを通じて保護者・生徒・教職員に対応している。

○グーグルを活用しての授業提供は？

⇒ 動画作成における労力がひとりひとりの教員にとっては大きすぎることに、本校の通信能力が充分ではないと判断しているため、本校ではスタディサプリを併用し、各教科で準備は進めている。

○大学では、講義の様子を動画撮影し、You Tube を通じて配信し、学生が閲覧できるようにしているところが多くなってきている。

○緊急事態宣言が出されたことによる学校への影響は？

⇒ 4・5月の2か月分を取り戻すことが大事であり、今休業すると、年間スケジュールを消化できないので大変である。

○この禍をプラスにしてもらえれば・・・

⇒ 今後もコロナとの共存が必須であると考えており、学校の行事等の在り方を検討している。

○授業アンケートの資料も他の資料同様、左から順に経年比較できるように、そしてカラー化されるとより理解しやすいと思うので次回からはお願いしたい。

○パッケージ研修については、先生の目線で動画を撮影し、協議の資料として振り返りをされている ICT の活用は素晴らしい試みであると感じた。最も進んだ授業改善手法の一つであり、続けていただきたい。

○修学旅行の行先は？

⇒ 320名の生徒が宿泊できる施設を確保しにくいことと、もし発症した場合の対応などを考慮しながら検討している状況である。

○コロナ禍において、経済的理由等で進学を断念する状況はないか？

⇒ 現段階では、そのような情報はキャッチしていない。

○コロナ禍での大学受験の対応はどのようになっているか？

⇒ 受験生の距離を2mほど離すなどの対策をとっている。経済的支援については、授業料の無償化を制度として設けている大学もあるようだ。

○レッドステージ移行後の教育活等についての専門家の意見の中で、高校生のアルバイトについては、飲食関連の夜の時間帯を避けることとあるが、クラスター発生はバイト先が多い傾向にもあるので注意されたい。

## 閉会あいさつ

校長より 貴重なご意見をありがとうございました。どのような環境下にあろうとも、牧野高校が着実に前進していけるように、今後ともご意見をご支援をお願いしたい。

■事務連絡 第3回は2月中旬を予定